

9月

広報

しよわ

平成20年(2008)

No.471

主な内容

- 県消防ポンプ操法競技大会.....P2
- その夏大活躍の中学生を紹介.....P4
- らくらく筋トレ体操に取り組んでいます！(ほか).....P6



「大ピンチッ!!」

東小・南小・大河原小の村内3小学校では9月6日、秋期大運動会を開催しました。

東小学校では、3・4年生が村の特産物「トマト」を紙で作った擬似トマトが入ったコンテナを一列に並んで、次々に後ろの人に渡していく「特産物運び」を行いました。子どもたちは2組に分かれ、擬似トマトが入ったコンテナを、落とさないように運ぶ速さを競い合いました。



村消防団がW優勝で大会3連覇

第5分団・第9分団が見事^{ダブル}W優勝

第9分団は全国大会へ



群馬県と財団法人群馬県消防協会が主催する第19回群馬県消防ポンプ操法競技大会が8月20日、県消防学校で開催されました。村からは、小型ポンプの部で第5分団が、ポンプ車の部で第9分団が出場。すばらしいポンプ操法を披露し、ダブル優勝の栄冠に輝きました。

この大会は、有事に即応した消防技術の向上と、消防団員の士気の高揚を図ることを目的に、2年に一度開催されるもので、小型ポンプの部とポンプ車の部の2つの部門で、県内11地区から予選を勝ち抜いてきた地区代表の消防団がそれぞれ操法を披露。

小型ポンプの部では7組の消防団が、ポンプ車の部では14組の消防団が出場し、ポンプ操法の正確さ、素早さ、技術力を競い合いました。

小型ポンプの部では、第5分団が、村消防団の4大会連続の優勝をかけて、ポンプ車の部では、第9分団が、今年10月12日に東京ビッグサイトを会場に行われる全国大会の出場をかけて、県大会に挑みました。

競技は、ポンプ車の部、小型ポンプの部の順で行われ、午前中に行われたポンプ車の部では第9分団が14組中最後となる14番目に登場。会場の声援を受け、気迫のこもった操法を披露。

午後に行われた小型ポンプの部では、第5分団が7組中3番目に登場。迅速なポンプ操法を披露。両分団とも、プレッシャーをはねのけ、前回大会、前々回大会に続き、見事3大会連続となるダブル優勝をたしました。

また、各部の個人表彰では、小型ポンプの部で藤井功太さん（一番員）、藤井弘行さん（二番員）、藤井勉さん（三番員）が、ポンプ車の部で後藤信行さん（指揮者）が、それぞれ受賞しました。

なお、ポンプ車の部で優勝した第9分団は、10月12日に東京ビッグサイトを会場に行われる全国大会に群馬県代表として出場が決定。全国大会での活躍が期待されます。

小型ポンプの部

第5分団出場選手
(敬称略・左から)

- 指揮者 藤井 和信
- 一番員 藤井 功太
- 二番員 藤井 弘行
- 三番員 藤井 勉
- 補助員 藤井 諸田



第5分団の勇姿

地域一丸となって勝ち取った優勝



第5分団 分団長
もろた かずとよ
諸田 一豊さん

家族や地域の理解と支え、地元自警団の皆さんの全面的な協力を得て、地域が一丸となって勝ち取ることができた優勝です。利根沼田中央消防署職員、第10分団の皆さんにも大変お世話になりました。本当にありがとうございます。全国大会に出場する第9分団のみなさん、我々村消防団の代表として、より高みを目指して頑張ってください。



ポンプ車の部

第9分団出場選手
(敬称略・左から)

- 指揮者 後藤 信行
- 一番員 新井 俊治
- 二番員 吉澤 哲也
- 三番員 星野 元春
- 四番員 後藤 貴久
- 補助員 藤井 石井



第9分団の勇姿

限界の向こう側へ

選手や団員の家族の理解、地域の支え、さまざまな人たちの応援、助力がなければ、今回の優勝を勝ち取ることができませんでした。本当にありがとうございます。全国大会出場を目標に、昨年10月から練習を積み重ねてきましたが、全国大会ではより上位を目指し、団員33人一丸となり、自分たちの限界を一步でも越えられるよう、頑張っています。



第9分団 分団長
ほしの たかゆき
星野 高章さん



大会の主な成績

小型ポンプの部

- 優勝 勝昭和村消防団第5分団
- 準優勝 東吾妻町消防団第1分団
- 第三位 東吾妻町消防団第3分団

ポンプ車の部

- 優勝 勝昭和村消防団第9分団
- 準優勝 中之条町消防団第4分団
- 第三位 前橋市消防団第17分団

村消防団の

過去の主な成績

- ▼第1回大会(昭和47年)：小型ポンプの部で第8分団が優勝。全国大会へ出場 ▼第7回大会(昭和59年)：ポンプ車の部で第8分団が準優勝 ▼第9回大会(昭和63年)：ポンプ車の部で第8分団が優勝 ▼第11回大会(平成4年)：小型ポンプの部で第6分団が3位入賞 ▼第12回大会(平成6年)：ポンプ車の部で第1分団が3位入賞 ▼第15回大会(平成12年)：小型ポンプの部で第2分団が3位入賞 ▼第16回大会(平成14年)：小型ポンプの部で第6分団が優勝。全国大会へ出場 ▼第17回大会(平成16年)：ポンプ車の部で第1分団・小型ポンプの部で第3分団が優勝。第1分団が全国大会へ出場 ▼第18回大会(平成18年)：ポンプ車の部で第7分団・小型ポンプの部で第10分団が優勝。第10分団が全国大会へ出場

この夏大活躍の中学生を紹介

この夏、昭和中学校の生徒たちが、スポーツや文化活動で大活躍。
ここでは部活動など、さまざまな活動で活躍した
団体や個人を紹介します。

中体連県大会・県コンクール出場の個人・団体を紹介



▲剣道部個人戦出場のメンバー



▲柔道部男子個人戦出場のメンバー



▲女子柔道部 諸田さん(写真右)は関東大会に出場



▲バレーボール部



▲サッカー部



▲ブラスバンド部



▲陸上競技に出場したメンバー



▲卓球部 向田・綿貫組

中学校総合体育大会結果
(敬称略)：〔柔道男子個人 50kg級〕2回戦・永井 諒、〔60kg級〕ベスト8・諸田 竜也、〔90kg超級〕ベスト8・反町 和馬／〔柔道女子 団体〕ベスト8、〔個人44kg級〕2回戦・大竹 成美、〔57kg級〕ベスト8・涌井 薫奈、〔70kg級〕準優勝・諸田 悠／〔剣道男子個人〕ベスト16・加藤 義成、2回戦・倉沢 隆太、2回戦・小野 僚大／〔サッカー〕2回戦／〔バレー〕1回戦／〔卓球個人ダブルス〕1回戦・向田隆浩、綿貫健太組／〔陸上 2年生100m〕予選・林 貴博、〔共通走り幅跳び〕予選・飯塚 勇太、〔共通110mハードル〕予選・飯塚 一希、〔共通走り高跳び〕予選・平松 聡司、〔共通400mリレー〕予選・飯塚 勇太、林 貴博、林 淳彦、加藤 悠介
なお、柔道女子個人70kg級で準優勝した諸田悠さんは、8月10日に神奈川県平塚市で行われた関東大会に出場。また、ブラスバンド部が7月30日から8月4日にかけて県民会館で行われた、第50回群馬県吹奏楽コンクール中学生Bの部に出場しました。

澤浦えくぼさんが最優秀賞を受賞



最優秀の賞状を手にする澤浦さん

平成20年度「少年の主張」利根沼田地区大会が8月27日、利根沼田文化会館で行われまし

た。大会には、利根沼田地域の中学校から16人の生徒が参加。昭和中学校からは澤浦えくぼさん（一年生）が「三世代同居で考えること」と題して、おじいちゃん、おばあちゃん

と同居することの大切さや日ごろの感謝の気持ちを、堂々と発表。見事、最優秀賞に輝きました。

村では中学一年生での最優秀賞の受賞は初めてとなる快挙。利根沼田地域でも一年生

が最優秀賞に選ばれるのは2人目です。「あまり緊張せず落ち着いて発表できました」と澤浦さん。受賞をなにより喜んでくれたのはおじいさんとおばあさん。「おばあさんはうれしくてその日の夜は眠れなかった」そうです。

利根沼田代表として県大会に出場する澤浦さんは、「あせらず自然体で頑張ります」と大会に向けての抱負を語ってくれました。

なお、少年の主張群馬県大会は9月20日土曜日、県公社ビルで行われます。

発表 作文を 紹介

三世代同居から考えること

昭和村立昭和中学校 一年 澤浦えくぼ

「仲良くするところにすべてが生まれる」わたしの家のトイレに貼ってある標語です。我が家は祖父母に両親、私に弟達二人の七人家族です。家はいわゆる二世帯住宅になっていて、三世代同居です。

今年の五月に政府は、高齢者に対して「安心と活力」を強化するための原案を発表しました。その中の一つに「三世代同居世帯への減税」があげられました。そのニュースを聞いた父は「うちはあてはまるな」とニヤリとしてうなずいていました。

これは、高齢者と同居する住宅の固定資産税や世帯主の所得税を軽減するという事です。なぜ、このような原案が出されたのかというと、高齢者の独り暮らしによる健康や治安などの不安もあり、三世代同居を進めて高齢者が安心して暮らせるようにするためだそうです。これは高齢者問題のうちの一つだろうと思われま

す。私はこの話を知ったときに、いいことだなあと思いました。今の世の中、IT化が進み、買い物ひとつにしても、人と会話をしなくてパソコンで購入できると、指先でピコピコ押せば何でも情報が手に入ります。でも、心が満たされな人も多くなっていると思います。人間が人間を信用できないような事件も多いです。人との関係をもつことがわずらわしく感じるのでしょう。

人間関係はまず家族が基本だと思えます。なぜならば、家族は社会生活を送っていくための一番小さな団体だからです。「同じ釜の飯を食べる」ということわざもありますが、その時にも会話はつきものです。私自身は話をしたり、聞いたりする相手がいつもいるので、正直毎日独りで食事をしている人の気持ちはわからないです。たぶん、独り暮らしをしている人比べて私の家族はとも恵まれていると思います。

ただ、今でこそひとつ屋根の下で、祖父母と仲良く暮らしている母も、結婚する時は同居について悩んだそうです。浜松出身で東京で六年も独り

暮らしをしてきた母は、環境にしても食べるものにしても自分の感覚とずれがあり、かなりカルチャーショックだったそうです。でも母は結婚するときにだまされた訳ではなく自分が好きで選んだ道だから幸せだよ、と言っています。

しかし、母のように柔軟に考えることができる人なれないですから、同居しても分かれて生活する人があるのですから、親との同居という、またいろんな問題が生じるのでしょう。一緒に生活している時には我慢したり、努力したりしなくてはいけないこともあります。人それぞれの仕事や環境や立場によっても違うので三世代同居ということは大変なことかもしれません。

私の家族の場合、一緒に生活をしていて、みんな家族の一員であるというのを認識しています。そして、それぞれの役割も決まっています。そこで思うことは、同居ということは祖父母のためになるかもしれませんが、私を含めた家族全員のためにもなっているということです。それは、家族みんなが祖父や祖母を通じて昔の人の知恵やいろいろな料理を教わってもらったり、相談相手になってもらったりしていることからもわかります。また、私は習い事の送迎してもらったりしています。私の生活に祖父母は欠かせない存在なのです。私たち家族を見守り、応援してくれることに感謝しないではいられません。

日本はこれから高齢化社会がどんどん進むでしょう。少子化の問題もあります。だからこそ、世代を超えてみんなが仲良くしていくことが大切だと思っております。

それが国民みんなの幸せにつながると思っています。私は思いますが、国民ひとりひとりが、受け身ではなく、幸せになろうとするエネルギーをもつて生活することが大切だと思います。



壇上では堂々と発表

ふれあいいいきいきサロンで らくらく筋トレ体操に取り組んでいます！

らくらく筋トレ体操は、介護予防のために「暮らしを拡張する10の筋カトレーニング」として開発され、県内各地域で取り組まれています。

住み慣れた地域で暮らし続けるのに必要な健康を保ち、大切な仲間をつくり、意欲をもたらずプログラムとして、村でも村内の各地域で取り組みめたらと考えています。

今年度から、村社会福祉協議会と協力して、「筋トレ」から、より親しみやすく「らくらく筋トレ体操」と名称を改め、「ふれあいいいきいきサロン」として、取り組みを始めました。

サロンに集い、らくらく筋トレ体操に取り組むことで、みんなで楽しい時を一緒に過ごしませんか。この体操はおよそ1時間で終わりますが、1時間続けて体操ができる旅行に行けるくらいの筋力がつきます。元気でいきいきと生活できる体力と筋力を保ちましょう。

上級を終了 再スタートしました

赤城原区民館



■実施日 第2・3・4（水）午前9時30分～
村で一番早く取り組みました！老人会で筋トレ部会をつくり頑張っています。

吹張集会所



■実施日 第2・4（金）午後2時～
糸井南部老人会を中心に、ゲートボールやカラオケなどの忙しい合間をぬって、元気に参加しています。

地域活性化センター



■実施日 毎週（金）午前9時30分～
森下老人会を中心に、他の地区の方も参加して体操しています。みなさんぜひ参加してください。

生越住民センター



■実施日 毎週（木）午後1時30分～
暑い日も寒い日も休まず集まり体操しています。武田節や唱歌を歌いながら、和気あいあいとやっています。

初級からスタート 頑張っています

ふれあいい館



■実施日 毎週（水）午前9時～
総合福祉センター敷地内のふれあいい館で体操しています。体操をしながら温泉も楽しんでみては。

入沢区民館



■実施日 毎週（火）午前9時30分～
（9月は祭りの準備のため休み）
「地元で体操ができれば…」の声から始まったサロンです。

永井住民センター



■実施日 毎週（木）午後2時～
できたてほやほやのサロン。お年寄り、若い人が一緒になって体操しています。

三ツ谷住民センター



■実施日 毎週（月）午後2時～
花植えのボランティアをしていたメンバーを中心に、ご近所のお年寄りと一緒に体操を楽しんでいます。

入原公民館



■実施日 毎週（木）午後2時～
体操とおしゃべり、歌で、心も体もリフレッシュ！ぜひご参加を！！

参加は自由ですので、「参加してみたい」、「新しくサロンを立ち上げたい」という方はぜひお声かけください。役場保健福祉課と社協がお手伝いします。皆様のご参加をお待ちしています。

■問い合わせ 昭和村役場保健福祉課 健康係 ☎24 | 5111（内線26）

第11回

昭和村合併50周年記念

昭和の秋まつり

10月5日(日) AM9:30~PM4:00
村総合福祉センター駐車場ほか



協賛団体出店

体験広場コーナー

- ・ちびっこ商店街
- ・関屋工業団地企業出店
- ・利根沼田森林組合
- ・東京電力(株)
- ・水土里ネット
- ・赤城林間学園
- ・横浜市体育協会
- ・サッカー (キッカーゲーム)

食とイベントコーナー

- ・こんにやく大鍋 (5,000人分)
- ・横浜ミニ中華街
- ・野菜、果物加工品販売
- ・地ビール、ワイン販売

5,000人分のこんにやく大鍋をはじめ、炎神戦隊ゴーオンジャーショー、タカラトミーのゲーム大会など盛りだくさんの内容。

今年は「昭和村ふれあいピンポンフェスティバル」を開催。トップ選手を招いて、卓球の体験コーナーやゲームなどを行います。ぜひお出かけください。

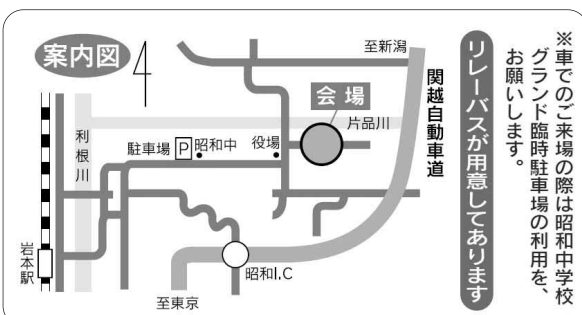
- 9:30~ オープニング
- 10:00~ 昭和中プラスバンド演奏
- 10:30~ フォークダンス
- 10:50~ 炎神戦隊ゴーオンジャーショー
- 11:30~ 投げ餅
- 11:50~ 生越太鼓
- 12:10~ こんにやく料理アイデアコンテスト料理紹介・審査
- 12:20~ 空手型披露
- 12:50~ こんにやく料理アイデアコンテスト発表
- 13:30~ 炎神戦隊ゴーオンジャーショー
- 14:10~ 投げ餅
- 14:30~ コーラス・アンダンテ
- 15:10~ お楽しみ大抽選会

屋内運動場コーナー

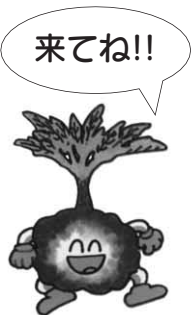
- ・(株)タカラトミーイベント
 - チャレンジコーナー (チョコQ・ベイブレード・ポケモンバトルオ)、ファアランド、チョコQペイント工作、リカちゃんシャボン玉ファンタジーショー、など
- ・卓球体験コーナー
- ・チャレンジゲーム
- ・DVD上映

昭和村ふれあいピンポンフェスティバル

- ・渋谷浩選手による講習会



※村内の方は路線バスをご利用ください



福祉まつり

総合福祉センター
(社会福祉協議会)
昭和の湯

AM10:00~PM4:00
入館料200円

11:00~
昭和中プラスバンド演奏

福祉団体・施設の
出店バザー





第一保育園の子どもたちと記念写真をパチリ

担い手有志会が子どもたちに収穫体験

担い手有志会（鈴木吉行会長）では8月1日、第一保育園の園児を招き、トウモロコシの収穫体験を行いました。



大きなたウモロコシが穫れたよ

これは、子どもたちに野菜の収穫体験をと、同会メンバーのトウモロコシ畑で園児たちを招き毎年実施しているもの。園児たちは、担い手有志会のメンバーに手を添えられて、トウモロコシの収穫を体験。収穫したトウモロコシを「おっきいのがとれたよ」と誇らしげに掲げている子や、お互いに見せ合う子など元気いっぱい。子どもたちは終止笑顔で収穫を楽しんでいました。

鈴木会長は「収穫体験を通じて、野菜に親しみ、楽しい思い出を作ってもらえるよい機会になれば」と話していました。

赤城西麓土地改良区が園児を招待

赤城西麓土地改良区では8月6日から8日の3日間、村の農業を支える同土地改良区の農業用水に対して、子どもたちにも親しみをもってもらうと、村内の第一・第二・子育保育園の3園を沼田市利根町の調整池となりの親水公園に招待しました。

8月6日には第2保育園を招待。赤城西麓土地改良区職員が保育園を訪れ、保育園で水難事故防止のビデオを見たあと、利根町の調整池となり親水公園に移動。親水公園では同職員が焼きトウモロコシ



冷たい水が気持ちいいね（第二保育園）

シヤ冷水で冷やしたトマトを子どもたちに振る舞い、子どもたちは大喜び。およそ1時間にわたって、親水公園で水遊びを楽しみました。



振る舞われた焼きトウモロコシに大喜びの園児たち（第二保育園）

村短歌会の今井與兵衛さんが村に寄附

村の短歌会「昭和村黒土短歌会」で短歌の指導に当たっている今井與兵衛さん（川場村在住）が8月12日、村に5万円を寄附されました。

今井さんは、これまで20年間にわたり村短歌会の定例会に休まず出席。節目となる今年、歌碑の建立に際し、「活動の場を与えてくれた村と短歌会の皆さんに感謝しています」と、今井さんが同会のメンバーと、村への感謝を込めて、寄附したものです。



村へ寄附をした今井さん



ロス・アウキスの演奏を手拍子して楽しむお年寄りのみなさん

菜の花館演奏会で南米のリズム楽しむ

特別養護老人ホーム「菜の花館」では8月15日、中南米の民謡を演奏するプロの演奏グループ、ロス・アウキスより4人のメンバーを迎え、演奏会を実施しました。

これは、「菜の花館」に入所している須川映子さんの姪御さんがロス・アウキスのメンバーのひとりに、民族楽器ケーナの指導を受けていたことから、「菜の花館」で演奏会を話したところ、ロス・アウキスが快諾して実現。今回で3回目の講演会となりました。

ロス・アウキス(LOS AUKIS)は、東京を中心に活動している演奏グループで、4人が南米ペルーやボリビア出身。アンデスの民族楽器を使い中南米の民謡を演奏しています。

演奏会では、南米の代表的な民謡「コンドルは飛んでいく」のほか、日本の歌曲「上を向いて歩こう」や「ふるさと」を演奏、ホールに集まったお年寄りのみなさんも、音楽に合わせて手拍子をしたり、一緒に合唱したりして、演奏を楽しんでいました。

赤城原地区で納涼祭を実施

赤城原青年団(高橋邦之団長)が主催する、納涼祭が8月20日21日の2日間、赤城原住民センターで開催されました。

この納涼祭は、「赤城の原」をもっと元気に栄える地域にしようと、地元の人たちで組織する「原栄会」のほか、森下青年団の協力を得て実施、今年で6回目を迎えます。

会場となった赤城原住民センターでは、子どもみこしがやぐらの周りを元気に練り歩いたほか、原栄会のおはやしで赤城原青年団と森下青年団が八木節を披

露。祭りの最後にはもち投げが行われ、大盛況となりました。

原栄会の発起人のひとり、廣田忠一さん(赤城原二)は「今年も多くの人が祭りに来てくれてよかった。

このお祭りを通してますます地域が活気づいてくれれば」と話していました。



おはやしは原栄会が担当



赤城原・森下青年団による八木節

「みんなで仲良く」子育て保育園で人権教室

子育て保育園では8月27日、園児たちに他の人に対する思いやりの心を育てるなど、子どもたちの人権尊重の理念を育てることを目的に人権教室を実施しました。

子育て保育園を訪れたのは沼田人権擁護委員協議会今橋憲雄会長のほか、織田澤寛示委員の2人。

ホールに集まった園児たちに、今橋さんが「ひとのいやがる事をしない。みんなで仲良く遊びましょう」と呼びかけると、子どもたちは元気に手を挙げて返事をしていました。



園児に語りかける今橋さん

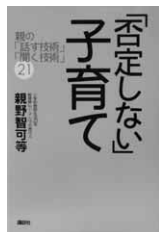
今月のイチオシ



よこながきしゃぼっぽ
(おりたたみしかけえほん)

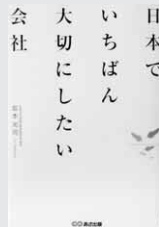
リチャード・スキヤリー (著)
/きたむら まさお (翻訳)
大日本絵画

かわいそうなゴリラのバナナン。大好きなバナナがどこかへ消えちゃったんです。みんなで長いおりたたみえほんのきかんしゃの中を、いっしょにさがしてあげましょう。長い列車は、3メートル近くになります。めくりをあげてバナナを見つけてね。



「否定しない」子育て
親の「話す技術」「聞く技術」21

親野 智可等 (著)
講談社



日本でいちばん
大切にしたい会社

坂本 光司 (著)
あさ出版



時が滲む朝

楊 逸 (著)
文藝春秋



黒笑小説

東野 圭吾 (著)
集英社

月曜日・金曜日

午前8時30分～午後6時

公民館図書室利用時間

村公民館図書室の本を紹介しします。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



本とハッピー

交 流 ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご
夫妻の登場者を募集していま
す。自薦・他薦は問いません。
皆さんどしどしご応募くださ
い。【問い合わせ】役場企画
課広報統計係 ☎24-511
1 (内線32)

二人三脚で

50年

畑仕事や家事、子育て
にと大忙しだった節子さ
ん。「ガスと炊飯器が家
に入った時にはうれしか
った」と当時の苦労を笑
顔で振り返ります。

「面倒をかけたみたい
するのをお互い様。二人
支え合って行ければ」と
笑顔で話すお二人。どう
ぞこれからもお幸せに。

「夫婦はお互い様。言
いたい事も言うが、支え合
って」と言うのは、林昌
平さん節子さんご夫妻。
これまでを「夢中で働い
た、あつという間の50年
だった」と振り返ります。
「村一番の力持ち」と言
われた昌平さんは夏には
田んぼ、こんにゃく、養
蚕などの農業を、冬には
土木作業を、夢中で働い
て、長男として大家族を
支えました。

「今後は「迷惑をかけな
いように、体を大切に
していきたい」と昌平さん。
「面倒をかけたみたい
するのをお互い様。二人
支え合って行ければ」と
笑顔で話すお二人。どう
ぞこれからもお幸せに。

「夫婦はお互い様」



はやし
林

しょう
鳥節

へい
平さん (77歳)
ち
子さん (74歳)

三ツ谷

(昭和33年8月6日入籍)

みんなの オアシス

昭和イーグルスが

近郷選抜野球大会で三位に入賞しました

県野球連盟利根沼田支部が主催する近郷選抜少年野球大会が8月3日から9日にかけて、沼田市運動公園野球場などで行われ、昭和イーグルスが三位に入賞しました。

近郷選抜野球大会は、県少年学童軟式野球大会の地区大会で惜しくも敗退した

ものの、好成績を残したチームが、県野球連盟の各支部長の推薦により参加する県の大会です。

今年には県内各地から28チームが参加しました。

昭和イーグルスは準決勝で惜しくも月夜野イーグルスに破れたものの、見事三位入賞をはたしました。



見事三位入賞をはたした昭和イーグルスのメンバー



次回登場者紹介

中学校からの同級生で、今でもよく遊ぶ友達です。しっかり者で、中学校では生徒会長をしていました。またおいしいトマト食べさせてね。



秋晴れにカカシ (鎌沢 9月9日撮影)



介 護

今、介護を始めて4年目です。始めた頃は、分からない事だらけでしたが、毎日、利用者さんと一緒に生活して行く中で、大変な事もありましたが、認知症の方に、名前を覚えてもらったりしているうちに、大変さよりも、楽しさや、うれしさを感じられるようになりました。「いつもありがとう」と言われると、一日笑顔で仕事ができます。

『菜の花館の皆さん!!いつもありがとう。』これからもよろしくお願いします

おいつ子・パート2

私のおいつ子、旭君。とうとう私もおばちゃんに☆あつみが(前回はつらつトークで)言ってたとおり、こんなにかわいいとは…。大きくなったら、いっぱいお出掛けしようね♡早く「ゆき」って呼んでね。旭君、どんな人にも笑顔でいられる、優しい人になってね。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
 次回の登場者は、諏訪潤子さん(23歳・赤城原第二)です。



はらさわ ゆき さん
 原 澤 由 貴 さん
 (23歳・常木)

はつらつ
 トーク

※おいつ子の旭君と

猟友会が下草刈りを実施

村猟友会（綿貫栄会長）では7月27日、下草刈りを実施しました。

場所は16年5月に県植樹祭の会場となった松ノ木平桜地区の千年の森。この草刈りは毎年実施しているもので、同会員のほか、ボランティアとして菅野三男さん（永井上）らおよそ30人が参加し、草刈りに汗を流しました。

また猟友会では、8月13日に松ノ木平桜地区でイノシシを捕獲しました。これは近年増加している農作物の鳥獣被害防止のため、この他に今年は、シカ2頭、を捕獲しています。



捕獲されたイノシシ



下草刈りを行う猟友会のみなさん

プロの指導でより美しく



講師の話しに聞き入る参加者

ひまわり大学（石橋敏江学級長）では7月29日、公民館大会議室で「身近なおしゃれテクニック」と題して化粧教室を実施しました。

化粧品メーカーより3人の講師を招き、化粧の方法や重要なポイントなどについて、実際に商品を用いながら講習を受けました。

講習会では午後2時からおよそ1時間半、講師の実演や指導を受けながら、化粧を実践。予定時間をオーバーするほど熱心に講師の話に聞き入り、参加者は真剣そのもの。化粧後には、自分の顔を見て歓声上がるなど、仕上がりに大満足の様子でした。

横浜市がバスケットサマーキャンプを実施

横浜市体育協会が主催する「2008バスケットボール・サマーキャンプin赤城」が8月5日から8日にかけて行われ、横浜市や東京近郊から集まった小中学生のほか、村昭和中のバスケットボール部員など、およそ100人が参加しました。

サマーキャンプでは、モントリオールオリンピックに出場した斉藤文夫氏やミュンヘンオリンピックで得点王に輝いた谷口正朋氏、元日本代表の大原輝隆氏と、豪華なコーチ陣が指導にあたり、参加者はシュートやドリブルなど、熱心に練習していました。

また、8月7日には、交流試合が行われ、白熱した試合が繰り広げました。



子どもたちにシュートの指導をする谷口さん

PICK UP Sports & Topics

スポーツ&トピックス

ひまわり会が整備した花壇でサルビアが満開



サルビアが鮮やかに咲き誇る花壇（昭和インター線沿い）

昭和インター線沿線やインター隣のポケットパークに整備された花壇では、サルビアなどの花が鮮やかに咲き乱れ、通行する人々たちを楽しませています。

これは、藤井、宮貝戸、根岸、伏田の川額4地区の女性を中心に活動しているひまわり会（竹内景子会長）が「村の道路を花で飾ってきれいに」と整備したもの。同会では20人あまりの会員が、毎年花壇の整備やゴミ拾いを実施し、昭和インター線沿いなどにサルビアなどの花を植えています。

今年は、5月11日に昭和インター線沿いの花壇でサルビアの種をまき、苗を育てました。また、7月12日には、昭和インター隣のポケットパークや昭和インター線沿い、南小学校付近の土地改良事業竣工記念碑周辺などの花壇にサルビアを植えました。



5月11日には種まきを実施



6月25日には除草作業を行いました



7月12日に行われた苗植の様子

社会人地区対抗野球大会で糸井地区が優勝

第31回社会人地区対抗野球大会が8月24日から9月3日にかけて開催されました。

会場となった総合運動公園の野球場や多目的グラウンドでは、村内各地区の選手が熱戦を繰り広げました。

8月24日には、森下地区と川額地区、糸井地区と大河原地区がそれぞれ対戦。雨の降りしきる中、森下地区、糸井地区が接戦を制して2回戦へ進出。

9月3日に行われた決勝戦では、糸井地区が前回の覇者・貝野瀬地区を無失点に抑え、見事優勝を飾りました。



雨の中行われた試合（8月24日）

昭和中3年生がアメリカ・オレゴン州で海外交流



クレーターレイク前で記念撮影



ホワイトシティの人たちとの交流



ジェットボートで川下り



サンフランシスコ市の街を背にして



浴衣で夕食

平成20年度昭和村中学生海外派遣事業が行われ、昭和中の3年生13人がアメリカ・オレゴン州ホワイトシティなどで、ホームステイや交流体験をしました。

派遣期間は、8月3日から12日までの10日間。ホームステイのほか、英語の学習、現地中学生との交流や観光など、現地の人たちとの交流の中でたくさんのことを学ぶことができました。

▶海外派遣参加生徒を紹介…勝見 翼君（池原）、堤 衆君（入原下）、倉沢 隆太君（入原上）、加藤 義成君（常木）、飯塚 勇太君（入沢）、堤 崇哉君（入原下）、平松 聡司君（常木）、星野 拓馬君（大河原）、青木 真結さん（森下中）、阿部 祐季さん（椽久保南部）、大野 樹里さん（三ツ谷）、竹之内 萌さん（吹張）、七五三木 浄美さん（赤城原第二）



ホームステイに参加した

堤 崇哉君

10日間の感想を聞きました

英語は思ったより通じました。普段、外国の人と関わったり交流したりする機会が少ないので、ホームステイでアメリカ

の人たちと一緒に遊んだり交流したりできて良かったです。

実際に海外に行って感じたのは、アメリカの人たちはすごく優しくて良い人たちだということ。とても接しやすかったです。

一番の思い出はジェットボートに乗ったことと、ホストファミリーと一緒に大型モールでショッピングを楽しんだこと。

機会があったらまたイーグルポイントに行ってみたいと思います。

忠霊塔を清掃



作業を行った森下老人会のみなさん

森下老人会（金井吉之助会長）では8月9日、会員25人が、忠霊塔の除草作業や植木のせん定作業を行いました。

作業に参加した25人の会員のみなさんは、遺族の会保坂初次副会長らとともに、忠霊塔周辺の整備に汗を流していました。

お泊まり保育で流しそうめん

第一・第二の両保育園では8月22日、お泊まり保育を実施。

第一保育園では、茂木重雄さん（中宿）が、子どもたちのためにと、青竹を切り出して作ったお手製のそうめんの流し台で、流しそうめんを楽しみました。

子どもたちは流れてくるそうめんを箸ですくうのに悪戦苦闘しながらも「おいしい！！」と大喜び

お泊まり保育ではこの他、キャンプファイヤーや花火、きも試しなどを行い、子どもたちは保育園での長い夜を楽しみました。



流しそうめん上手にとれたよ

夏休み親子教室で木工工作に熱中



立派な作品が完成しました

しょうわこども教室では8月3日、「夏休み木工教室」を多目的屋内運動場で開催しました。

24人の親子が参加した木工教室では、思い思いの作品づくりに挑戦。親子で協力して長いすやテーブルを製作したり、一人でじっくりイスや本棚製を製作したりするなど、参加者は思い思いの作品を作り上げていました。

教室には、真下美貴雄さん（森下中）をはじめ、村の大工さん4人が協力。材料や作業道具を持ち寄り、作品づくりの手伝いもしてくれました。

参加した親子は「最高に良いものができた」「最初は戸惑ったけど良い作品ができてよかった」など完成した作品に大満足。

真下さんは「良い作品ができてよかった。来年も続けていきたい」と話していました。

第二保育園で子どもみこし

第二保育園では8月21日、園庭をおみこしが練り歩きました。

これは、赤城原青年団が主催する納涼祭で渡御する子どもみこしを保育園の園児たちにも楽しんでもらおうと地域の人たちが保育園へ運んできたもの。

子どもたちは、声をそろえて「わっしょい、わっしょい」と大きなかけ声をあげて、元気におみこしを担いでいました。



元気におみこしを担ぐ園児たち

村のお知らせ

役場 ☎24-5111
教育委員会 ☎24-5120
公民館 ☎〃

10月7日(火)に 行政相談所を開設

総務課 内線14

10月20日(月)～26日(日)の一週間は、行政相談週間です。

村では、これにさきがけて、行政相談所を開設します。

行政相談は、国道・国税・登記など国の業務、国民年金・生活保護などについての苦情や意見などの相談を受けます。

相談を受ける行政相談員は総務大臣から委嘱された有識です。国の仕事などについて、困っていることや、要望がありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料、秘密

は厳守いたします。

■開設日 10月7日(火)

■開設時間 午後1時30分～午後4時

■場所 役場会議室

■行政相談員 後藤金松さん(大河原)

建物を「新築・増築・壊したら」ご連絡を

税務課 内線29

建物(家屋)には、固定資産税が課税されます。

建物を新築・増築した時や、取り壊した時、用途変更をした時は、忘れずに税務課までご連絡ください。

なお、家屋調査の回覧を、各区長さんを通じて発送しましたので、記入をお願いします。

該当するお宅には、後日係員が伺い、確認させていただきます。

詳しくは、税務課までご連絡ください。

昭和の秋まつりに

献血を実施

保健福祉課 内線26

10月5日(日)に開催され

る「昭和の秋まつり」に合わせる「献血を実施します。

輸血の血液は皆さんからの善意による献血でまかなわれています。

血液そのものの働きをする代替品は、人工的に製造することができません。

この機会に、ぜひ献血のご協力をお願いします。

■時間 ①午前9時30分～11時30分、②午後1時～3時30分

■場所 保健センター前

■その他 献血カード(献血手帳)をお持ちの方はご持参ください。

住宅・土地統計調査 にご協力を

企画課 内線31

住宅・土地統計調査は、皆さんのより良い住生活を実現するために、5年に一度行われる大切な調査です。

調査は、10月1日、全国の無作為に抽出された約350万世帯を対象に行われます。

対象となるお宅には、9月下旬に、群馬県知事が任命した調査員が調査票を持ってうかがいますので、調査票への記入をお願いいたします。

“やさい王国” 昭和村ふるさと大使を募集します

永い年月が作りだした河岸段丘、赤城高原に広がる野菜畑、緑あふれる自然豊かな昭和村の魅力を、積極的に村外、そして全国にPRする「やさい王国ふるさと大使」を募集します。自薦、他薦は問いません。皆さんのご応募をお待ちしています。

■対象 ①村外で活躍する村出身者または、ゆかりのある方、②村をこよなく愛している方、など

■応募方法 応募用紙に①氏名、②住所、③連絡先(電話番号、FAX、メールアドレス)、④年齢、⑤職業、⑥出身地、⑦応募理由(村を思う熱意や導きたい方向など)、⑧他薦の場合は推薦理由を記入※応募用紙は役場企画課にて配布しています。

■応募・問い合わせ 企画課地域振興係 ☎24-5111(内線31) ☎24-5254 E-

mail:kikaku@vill.showa.gunma.jp

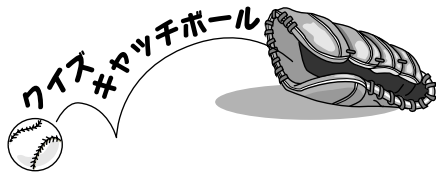
～「やさい王国ふるさと大使」とは～

やさい王国ふるさと大使は、村長が任命し、各活動分野で昭和村を幅広くPRするとともに、村に訪れて、その魅力を今以上に知って頂きます。

■任期 2年 ※報酬はありません

■主な活動内容 ①幅広い人脈を活かし、関係する分野(観光、文化、特産物のマーケティング、企業誘致など)で村を紹介・PR、②それぞれの視野と経験を活かした村への提言

■その他 大使に任命された方には、名刺を用意します。また、村の情報を随時提供(広報誌等)し、大使間の交流と情報交換の場を設けます。



■もんだい

県消防ポンプ操法競技大会が8月20日、県消防学校で行われ、村消防団からは第5分団・第9分団が出場。見事なポンプ操法を披露しました。

それでは問題です。第5分団・第9分団の成績は「ダブル〇〇」だったでしょうか。

応募規定

▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶賞品=正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。▶締め切り=10月1日(水)。▶発表=「広報しようわ」10月号。▶答えは必ずハガキに書き、下記要領で応募してください。

こたえ	切手
住所(行政区も) 氏名・年齢 TEL	3791298
投稿欄…広報でとりあげてほしいことや気がついたことなど書いてください。	昭和村大字系井三八八 昭和村役場 企画課 広報統計係

▷8月号のクイズの答えは、「15基」でした。応募総数は4通。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとうございます。

- ★金田 歩 (15歳) 赤城原第一
- ★中嶋 元暉 (10歳) 根岸

訂正とお詫び
広報しようわ8月号P12ページ掲載「ニュースフラッシュ」文化振興への感謝と決意込め句碑建立の中で、「句碑」とありましたが、正しくは「歌碑」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

調査結果は、住みよい居住環境を実現するためのまちづくり施策などの重要な資料となり、私たちの住生活の向上に大切な役割を果たします。
記入内容の秘密は守られます
調査員をはじめ調査関係者が、調査票に記入された内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することは、統計法により固く禁じられています。
詳しくは、企画課広報統計係

地域包括支援センターだより

元気なうちから介護予防①
足腰をきたえましょう!

高齢になると転倒、骨折、関節疾患などが原因の運動機能の低下が目立ちます。筋力や骨は体を動かさずにいると年齢以上に衰えてしまいます。
最近の研究では「軽い運動」を長く続けるより、「きつい運動」を週に数回取り入れる方が筋力をつけるためには効果があるということが分かりました。
「らくらく筋トレ体操」や「歩くこと(ウォーキング)」などを組み合わせ、元気なうちから足腰をきたえていきましょう。
筋力をつけるために効果的な体操を行ってみませんか。村内の各地域では「らくらく筋トレ体操」を行っています。今月号6ページに掲載された地域の住民センターなどで行っていただけます。お近くの会場に是非お出かけください。参加は自由です。
「らくらく筋トレ体操」や「歩くこと(ウォーキング)」などを組み合わせ、元気なうちから足腰をきたえていきましょう。

広報文芸

俳句

夏祭り酌する妻も少し酔ひ
新木 武治
神輿練る時にやさしく時に荒れ
須藤 澄子
杉木立祭太鼓の音ひびく
藤井 三代子
宵祭り友は何処の酒座を得る
大河原 一郎
夏祭り愚痴をこぼしつ共に老い
金井 糸子
祭囃子かあなたに聞きて厨事
真下 章子
川照らす辰野の螢数知れず
杉木 哲二
踊り子もお囃子方もみな氏子
小林 仁作

短歌

雨風を厭はず来ませし二十年
教へには常笑ひ忘れず
板橋 きみ江
熱中症も気分の悪き人もなく
二時間近き除幕式終ふる
諸田 洋子
泣き笑ひ歌に託して四十年歌
碑建ちて知る熱きよろこび
新木 たき
大夕立の生みし行潦に映る
雲乱して水面にあめんぼつ一
匹
金井 糸子
歌碑建ちて会員の顔清々し除
幕待つ間に風よ吹け吹け
諸田 義幸
身籠りて小麦を刈りしあの畑
雑草生へる工業団地に
倉沢 美代子
久に逢ふ歌友集ひて師の歌碑
の除幕式成せり暑き夏の日
金井 松枝
子持山背にして建ちし師の歌
詞は黒く光りて顔まで写す
高橋 洋子
孫四人守りて我が身は老境に
入りて幸を謝する今にして
中村 敏子

くらしの 情報

広く村民の皆さんに呼びかけたいことがあります。このページをご利用ください。

お知らせ

司法書士による 無料相談会を実施

◆群馬司法書士会沼田支部

司法書士による無料相談会を実施します。

▼日時 10月4日(土) 午前10時～午後3時

▼場所 沼田グリーンベル21 1階(特設会場)

▼内容 登記・法律・相続・債務整理等の相談

▼相談員 群馬司法書士会沼田支部

▼問い合わせ 群馬司法書士会沼田支部 ☎24-1084

無料調停相談会を実施

◆沼田市調停協会

金銭や土地建物などの民事

上の紛争、相続など家庭内の問題でお困りの方は、お気軽にお出かけください。裁判所調停員が相談に応じます。相談は無料、秘密は厳守されます。

▼日時 10月21日(火) 午前9時30分～午後3時30分

▼場所 前橋地方裁判所沼田支部

▼問い合わせ 前橋地方裁判所沼田支部 ☎0278-22-2709

ご協力ください 骨髄バンクのドナー登録

◆(財)骨髄移植推進財団

毎年6千人の方が、突然、

白血病などの血液難病にかかっています。もし、骨髄移植

を受けることができれば、多くの命が助かります。そのため

には、数百人から数万人に一人の確立と言われる白血球

の型が一致する骨髄提供者(ドナー)が必要です。たくさん

の命が生きるチャンスを守っています。骨髄バンクのドナー登録にご協力ください。

▼登録できる人 20歳から50歳までの健康な方

▼登録方法 腕からの10cc程度の採血(※費用はかかりません)

▼問い合わせ (財)骨髄移植推

進財団 フリーダイヤル0120-445-445

無料多重債務相談窓口

のご案内

◆財務省前橋財務事務所

財務省前橋財務事務所では、多額の借入に悩んでいる方の相談窓口を開設しています。相談は無料で、相談後には必要に応じて法律の専門家を紹介しています。一人で悩まず、まずはお電話を。

▼多重債務相談窓口 ☎027-221-4495(直通)

▼受付時間 ①8時30分～12時15分、②13時～16時30分(※土日祝祭日除く)

催しもの

出張緑化講座を開催

◆県緑化センター

家庭緑化推進、庭づくりの参考のための緑化講座を開催。

「庭木の整枝・せん定」をテーマに、庭木の整枝・せん定についての正しい知識や手入れのポイントについて学びます。

▼日時 10月23日(木) 午後1時30分～午後3時30分



おまわりさんからののお知らせ



▶ 毎月16日は「県民防犯の日」◀

村では、自動車の盗難、空き巣、車上荒らしなどが多発しています。

秋の運動会やお祭りのシーズンを迎えるこれから、次のような防犯対策を心がけ、被害に遭わないよう注意しましょう。

- ①家は戸締まりを必ずしましょう
- ②駐車時、車のカギを付けっぱなしにしない。ドアはしっかりロックしておきましょう。
- ③車内には貴重品を置かないようにしましょう。

▶ 「秋の交通安全運動」を実施 ◀

9月21日(日)から30日までの一週間、「秋の交通安全運動」を実施します。

交通事故は決して人ごとではありません。この機会に、あたらためて、交通ルールやマナーを再確認して、交通事故を起こさない、遭わないよう、ドライバーの皆さんは交安全運転に、歩行者の皆さんは十分な安全確認に務めましょう。

特設人権相談所

家庭内や隣近所のもめごとなどでお悩みの人は、ご相談ください。村人権擁護委員が相談に応じます。

◆日時：10月7日（火）、午後1時30分～4時、◆会場：役場会議室

健康相談

高血圧や糖尿病などでお悩みの人は、ご相談ください。役場保健師が相談を受けます。◆日時：9月30日（火）、午後1時～4時、◆場所：村保健センター ☎24-5142

こころの相談

「眠れない」、「イライラして落ち着かない」など、心に悩みを持つ人はご相談ください。専門家が相談に応じます。◆日時：10月3日（金）、午後1時30分～（事前に電話予約を）、◆会場：沼田保健福祉事務所 ☎23-2185

女性相談センター

パートナーからの暴力やさまざまな悩みを持っている女性の相談や支援を行います。◆日時：平日午前9時～午後8時、土日祝日午後1時～5時、◆相談専用電話 ☎027-231-4488

今・月・の・納・期

国民健康保険税4期、下水道使用料3期、保育料9月分、学校給食費9月分は、9月30日（火）が納期です。完納にご協力ください。

わが村の人口

人口 7,807人 (-1)
男 3,872人 (-3)
女 3,935人 (+2)
世帯数 2,277世帯(-3)
※()内は前月比

9月1日現在 (住民基本台帳人口)
村の面積 64.17 平方キロメートル

で(雨天決行)

▼場所 利根沼田県民局1階101会議室

▼募集期間 10月1日(水)

より(応募者が50人になり次第締め切り)

▼申し込み・問い合わせ 県緑化センター ☎0276-88-7188

募 集

自衛隊員を募集

◆自衛隊沼田地域事務所

2等陸・海・空士

▼受験資格 18歳以上27歳未満の男性

▼受付期間 随時

▼試験日・場所 受付時にお知らせします

▼申し込み・問い合わせ 自衛隊沼田地域事務所 ☎0278-23-4111

明日の安心 国民年金

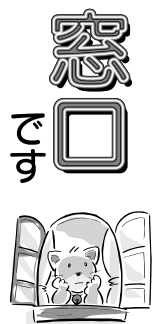
こんなときには
届け出が必要です

国民年金は、加入者(被保険者)が就職したときや退職したときなど、次のような機会ごとに届け出が必要です。

第1号被保険者(自営業者や学生など) ▼厚生年金や共済組合に加入したとき：勤務する事業所が社会保険事務所へ届け出 ▼結婚などで、第3号被保険者となったとき：配偶者の勤務する事業所へ提出、事業所が社会保険事務所へ届け出
第2号被保険者(会社員や公務員など) ▼退職したとき：本人が市町村国民年金担当

係へ届け出 ▼退職して、第3号被保険者となったとき：配偶者の勤務する事業所へ提出、事業所が社会保険事務所へ届け出

第3号被保険者(第2号被保険者に扶養されている配偶者) ▼就職して厚生年金や共済組合に加入したとき：勤務する事業所が社会保険事務所へ届け出 ▼収入増、配偶者の退職、離婚などで、第3号被保険者でなくなったとき：本人が市町村国民年金担当係へ届け出
必要な届け出を忘れてそのままにしておくと、将来年金が受けられなくなったり減額されたりする場合がありますので、ご注意ください。
詳しいお問い合わせは、沼田社会保険事務所 ☎0279-22-1607まで。



つぶごえ

☐お誕生おめでとうございます。

追分 竹吉 仁那ちゃん

喜徳さんの子7月25日生

中野下 星野 瑛太くん

いづ美さんの子7月27日生

藤井 小野里悠月くん

詠美さんの子7月30日生

追分 岡田 大洋くん

貴哉さんの子8月4日生

根岸 綿貫 絆人くん

かおりさんの子8月12日生

根岸 儘田 悠くん

憲子さんの子8月13日生

8月届出分

おくやみ

■ごめい福をお祈りいたします。

森下上 小泉 りつさん

90歳 8月7日没

橡久保 中嶋好太郎さん

74歳 8月9日没

滝久保 唐木 英男さん

69歳 8月15日没

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てくださいます。